

川上ダム通信

2015
4
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

Vol. 115
Since 2005

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

付替県道青美線最終工区を発注

付替県道青山美杉線で唯一繋がっていなかった最終工区の約350m区間を施工する付替県道青美線第2工区(その6)工事を発注いたしました。

一般的に山間部の道路は、切土したり盛土したりして造りますが、この工事では盛土の区間を補強土壁工法の一つであるテールアルメ工法を用いて施工します。

テールアルメ工法は、コンクリートのパネルを利用して擁壁を設置し、その裏側を盛土するものですが、パネル裏にストリップと呼ばれる帯状の鋼製補強材を接続するようになっており、このストリップを盛土の間に何層も挟むように施工することで、盛土とパネルが一体となって安定する仕組みとなっています。

今後、平成29年度に予定している付替県道青山美杉線の供用開始を目指して、工事を進めてまいります。また、この場所は川上ダム貯水池を眺めるうえで、絶好のロケーションとなります。夏には湖面に映し出される山々や青空を、秋には紅葉を、季節ごとに見せる美しい景色がご覧いただけるようになります。

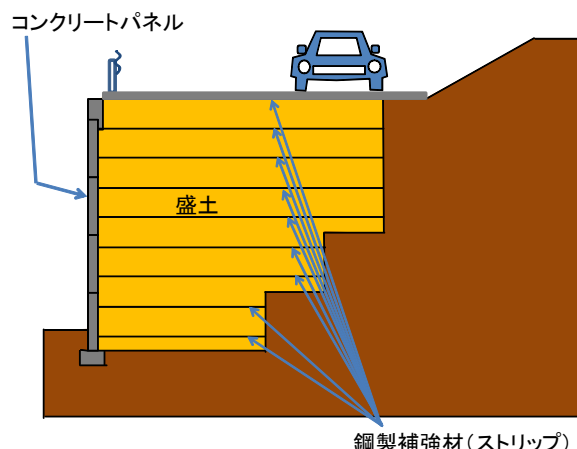
【工務課 関根隆好】



工事場所



テールアルメ工法イメージ (他工区)



テールアルメの構造

自衛消防訓練を行いました！

2月12日（木）、伊賀市消防本部南消防署から講師をお招きし、消防訓練と救命講習を実施しました。

消防訓練では、事務所内で火災が発生したという想定で、消防署への通報訓練、事務所からの避難訓練及び水消火器を使用した消火訓練を実施しました。講師から、消防署への通報や避難時の留意点や、消火器による効果的な消火方法について指導を受け、各自実践しながら習得しました。



水消火器を使用した消火訓練

救命講習では、意識を失い倒れている人の救命措置として、毛布を担架代わりに使用した運搬方法、心臓マッサージによる蘇生方法（リレー方式）及びAED（自動体外式除細動器）の使用方法などについて実習を行いました。



毛布の端を丸めて担架に変身！

毛布一枚でも、端を丸めて持ちやすくすれば簡易な担架となり、3～4人で要救助者を運搬することができます。持ち上げる際には、要救助者に体を寄せてしゃがみ、膝を使って立ち上がることで、運搬する人の腰への負担が軽減されます。

また、AEDは当建設所の玄関に設置していますが、その取扱方法を知らなければ、いざという時に気後れして救命措置に遅れが生じかねません。今回の講習において参加者が自ら実践したことで、救命措置の遅れがないよう心構えができたのではないかと思います。

今後、万が一、事務所内で火災が発生した場合や要救助者が出た場合、今回の訓練での経験を活かし、冷静に行動できるように心がけ、定期的に訓練を実施し、防災に取り組みます。

【総務課 木村数也】

川上ダムHPに「よくあるご質問」コーナーを開設

当建設所では川上ダム事業に関して広く皆さまに知っていただくための情報発信のツールの一つとして、川上ダム建設所ホームページを活用しているところです。

今回、これまでに当建設所に寄せられた様々なご質問とその回答のいくつかを「よくあるご質問」というコーナーに整理して、掲載しました。

また、「これまでのダム通信を読みたい」というご意見を受け、平成17年5月創刊号から最新号までのダム通信を「ダム通信バックナンバー」というコーナーで見られるような改善も行っています。

「よくあるご質問」、「ダム通信バックナンバー」とも、川上ダム建設所ホームページトップページ

の左側の見出しをクリックして、是非ご覧いただければと思います。引き続き、できるだけタイムリーな情報を発信するように心がけていきますので、お気づきの点等、ご意見をいただければ幸いです。

【副所長 瀧上吾郎】



川上ダム建設所ホームページ

初瀬街道まつり

みなさんは初瀬街道を知っていますか。

初瀬街道の「初瀬」は、現在の奈良県桜井市長谷周辺のことをさしていたそうです。そこから奈良県宇陀市～三重県名張市～伊賀市阿保を経由し、津市～松阪市六軒までを結ぶ全長約14里17町（約57km）の街道を初瀬街道と呼んでいます。かつて都のあった飛鳥地方から伊勢神宮に至る道として、伊勢神宮や長谷観音へのお参り旅が大流行していた江戸中期から明治初期には、多くの人々の往来で賑わっていたそうです。



迫力満点の獅子神楽



保育園児による可愛い踊り



ド迫力の青山太鼓！

そんな歴史ある街道の一つである阿保宿場町で、10回目となる初瀬街道まつりが3月1日（日）に催されましたので、取材しました。

当日は雨のため、屋外で予定していた一部の催しが青山ホールに変更になりましたが、さくら保育園児による可愛い踊りから始まり、ド迫力の青山太鼓、阿保東部獅子神楽が行われました。特に室内になったことにより、照明や音響効果が屋外とは違った感じの臨場感を醸し出していました。

街道周辺では、旧旅籠の屋号入りの手作り暖簾や灯籠なども飾られており、沢山の地元特産品販売や酒蔵まつり、三重県鳥羽産の牡蠣詰め放題も行われていました。

ご当地グルメもてんこ盛り、美味しい楽しい一日でした。初瀬街道まつりは毎年春の訪れとともに開催されますので、興味のある人は一度調べて見に来てだあーこ！

【第二用地課 福田達也】

桜を見に行こう



3月20日に日本気象協会が発表した桜の開花予想では、全国的に平年より早いところが多く、三重県の観測地点のある津市は、開花日3月27日、満開4月2日とのことです。伊賀には桜の名所が沢山あります。桜山公園（阿保）、上野公園（上野）、柘植川堤（佐那具）などありますので、花見を楽しんでみては如何でしょうか。今年は桜の見頃が学校などの入学式にピッタリ！新たな気持ちで桜の下での記念撮影もいいですね。

【総務課 梅村喜重】



常楽寺の桜（伊賀市種生）
平成26年4月9日撮影



矢地バス停付近の桜（伊賀市種生）
平成26年4月9日撮影



岩倉峽の桜
平成26年4月4日撮影

～伊賀の歴史を訪ねて (4)～

先月号に続き「広報なばり」平成25年8-3月号を引用して、「新田水路」を紹介します。

なお、記事中の堀川秀昭さんは「広報なばり」発行当時(平成25年)の新田地区水利組合の組合長さんです。

歴史ある水路を未来へ 新田地区水利組合 組合長 堀川秀昭さん

厳しく管理される「水」

新田地区には、水を大切にしてきた歴史があります。現在も、新田水路から田んぼに水を取り入れる「水戸口」の大きさや水を入れる時間が決められています。水の取り入れは、2日に1度回ってきますが、割り当て時間は、「日の出から正午まで」「正午から日の入りまで」「日の入りから午前零時まで」「午前零時から日の出まで」と分けられ、各家の割り当て時間は昔から変わっていません。

そして、割り当て時間以外に水を入れることを禁止しています。

組合員全員で守る「新田水路」

新田地区の農業用水の約8割は伊賀市高尾で取水する新田水路で賄われています。この大切な水路を守るため、85人からなる新田地区水利組合では、維持管理を欠かしません。

田植え前の4月初旬には、組合員総出で溝清掃。また、日常の管理では、2人1組の当番を決め、4月から8月末まで原則水曜日と日曜日の週2回、伊賀市高尾(旧青山町)から新田までの約14キロメートルの水路に異常がないかを歩いて確認しています。

新田地区には、他地区と比べて厳しい規則もありますが、新田水路や、各家から水路に向かって屋敷地の幅でのびる「ぜり田」と呼ばれる昔をしのばせる景色が残っています。

先人たちが守ってきた水路や田んぼをしっかり守り、未来へ残すことが、わたしたちの使命と考えています。



水路の先に広がる美旗地区の水田
(記者撮影)

3回にわたって新田水路をご紹介いたしました。この水路は、360余年もの間地域の人たちに守られ、今も現役のインフラとして地域に恵みをもたらすかけがえのない水路です。これから建設する川上ダムも先人の偉業にならない、地域に欠くことのできない重要な施設となるよう、努力していきます。

【総務課 梅村喜重】

関西支社と吉野川局を統合します

当機構の関西支社(大阪府大阪市)と吉野川局(香川県高松市)は、平成27年4月1日から組織改編により、関西・吉野川支社として生まれ変わります。

これまでの関西支社と吉野川局のそれぞれの機能を維持しつつ、合理的な業務運営を目指し、淀川水系及び吉野川水系に係る水資源開発施設の建設、管理等に尽力してまいります。



★ イベントのお知らせ ★

伊賀 NINJA フェスタ

開催日時 平成27年4月4日(土)～5月6日(水・祝)
午前10時～午後3時
開催場所 伊賀市街地ほか
問合せ先 NINJA フェスタ実行委員会事務局
TEL 0595-22-9670

第28回青山高原つつじクォーターマラソン大会

開催日時 平成27年5月31日(日)
会場 青山高原ロード(室生赤目青山国定公園内)
申込期間 2月16日～4月17日
(定員1300名になり次第募集締切)
問い合わせ 青山高原つつじクォーターマラソン大会実行委員会
TEL 0595-22-9635

編集後記

『さまざまな 事おもひ出す 桜哉』

これは上野公園内の句碑にも記されている松尾芭蕉の句です。本号では、伊賀市内の観桜スポットを紹介しました。桜の季節はこれから本番です。

みなさんの心には、どのような事がおもひ出されるでしょうか。

【広報誌発行事務局】

編集長 神矢(所長)
デスク 梅村(総務課長) 田中(工務課長兼工事課長)
記者 渡辺(総務課) 高橋(第一用地課)
桐山(第二用地課) 大谷(調査設計課)
金井(環境課) 飯島(工事課)